

今、私たちの周りでは、進学や就職をきっかけに三重県を出ていく先輩や友人がとても多いと感じます。SNS を開けば都会でキラキラと働く人の姿が目に入り、「地元には何も無いから」と諦めて外へ出ていく。こうした若者の流出は、単なる人口減少という言葉以上に、三重県から新しいアイデアや活気が失われていく、とても寂しくて危機的な状況だと思います。

若者が地元を離れる理由の一つは、やりたい仕事の選択肢が少ないというイメージがあるからではないでしょうか。でも、私たちが本当に求めているのは、ただ安定した就職先があることだけではありません。自分の力を試せるチャンスがあることや、新しいことに挑戦できるワクワクするような環境こそが、将来への希望に繋がるのだと思います。

私が大切にしたい論点は、三重県を「現状を守る場所」ではなく、「自分の夢を形にできるフィールド」に変えていくことです。三重には豊かな自然や伝統、世界に誇る技術を持った会社がたくさんあります。そこに、私たち若い世代の新しい感性や IT 技術を掛け合わせれば、三重県からでも世界に通用するような新しい価値が生み出せるはずです。「失敗してもいいからやってみなよ」と大人たちが背中を押してくれ、挑戦を応援してくれる。そんな雰囲気があれば、若者は「この街でなら自分の夢を叶えられる」と信じて、主体的に地域に関わっていけるはずです。若者が夢を持って住み続けられる環境を作るとは、結果としてすべての世代が元気に暮らせる未来に繋がります。三重県が、いつか「帰ってくる場所」になるだけでなく、今「この場所で挑みたい」と思える魅力的な県にしたいなと思っています。